

研究課題名	球脊髄性筋萎縮症における反復神経刺激試験の漸減現象の検討
研究期間	実施許可日 ~ 2025年 3月 31日
研究の対象	2016年4月から2024年12月の間に、広島大学病院脳神経内科および川崎医科大学附属病院神経内科、広島市立広島市民病院で球脊髄性筋萎縮症の診断を受けられた患者さん。
研究の目的・方法	<p>研究目的：反復神経刺激試験といわれる電気生理検査があります。3Hzの電気刺激を10回連続で与え、筋肉の電気活動に減衰がないかを見る検査です。この検査は従来、重症筋無力症などの神経筋接合部疾患の診断に有用であるとされてきました。近年、この反復神経刺激試験は運動ニューロン疾患、特に筋萎縮性側索硬化症の診断にも有用であることが報告されておりますが、その他の運動ニューロン疾患の一つである球脊髄性筋萎縮症につきましても報告例がほとんどありません。そこで、今回我々は球脊髄性筋萎縮症と診断されました患者さんにつきまして、反復神経刺激試験のデータを集積し解析することで、特徴を明らかにすることを目的としております。有用性が示せば、反復神経刺激試験は球脊髄性筋萎縮症の早期診断の一助となることが期待できます。</p> <p>研究方法：本研究は、遺伝子診断で球脊髄性筋萎縮症と診断されました患者さんにつきまして、反復神経刺激試験のデータを集積し、解析していきます。過去に検査を実施されている対象患者様につきましては、後方視的に検討させていただきます。また、診療録（カルテ）情報を調査して行います。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、身長、体重、既往歴、家族歴、生活歴、服薬歴、治療歴、罹病期間、徒手筋力検査、遺伝子検査、反復神経刺激試験の検査データ
外部への試料・情報の提供	患者さんの情報は広島大学に集めて、解析を実施します。広島大学への提供は、印刷した患者さんのデータを手渡しする事で行います。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日
個人情報の保護	診療録から収集した情報は、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないよう加工します。個人と連結させるための対応表は、各機関の研究責任者が保管・管理します。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学 教授 丸山 博文

	<p>研究代表者 広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学 教授 丸山 博文</p> <p>共同研究機関 川崎医科大学神経内科学教室 教授 黒川 勝己 広島市立広島市民病院 脳神経内科 主任部長 野村 栄一</p> <p>研究協力機関（解析に関する助言、指導） 帝京大学医療技術学部視能矯正学科 教授 園生 雅弘</p>
その他	—
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報を結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学病院 脳神経内科 担当者：立山 佳祐 中森 正博 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5201</p>